

12/2 長年にわたり尽力されました！ 選挙関係功労者表彰

海田町選挙管理委員会委員の江田幾代さんに総務大臣から感謝状が贈呈されました。江田さんは、平成18年12月に選挙管理委員会委員に就任されて以来、長年にわたり、公正な識見のもと、町の適正な選挙事務の執行に尽力されています。今回の贈呈は、その功績が認められたことによるものです。



海田町選挙管理委員会委員江田幾代さん ▲

12/17 マックスバリュ西日本株式会社と協定を結びました 包括連携に関する協定書等調印式

町とマックスバリュ西日本株式会社との間で、協働した取組を行うため、12月17日（火）に海田町役場において、包括的な連携協定を結びました。また、あわせて、災害時における支援物資の供給についての覚書も締結しました。今後、安心・安全なまちづくりと町の活性化のため、さまざまな分野で協力していきます。



マックスバリュ西日本株式会社 ▲

12/18 おめでとうございます 朝ごはん川柳・レシピ表彰式

身近で大切な存在である「食育」について理解を深め、関心をもってもらうため海田町学校栄養士部会が小・中学生、保護者を対象に朝ごはん川柳・レシピを募集し、小学生1人、中学生2人、保護者1人が表彰されました。



表彰された皆さん ▲

12/25 「緑の募金」でみどり豊かに 芝桜の植栽

皆さんから寄せられた緑の募金により、昨年に続いて地域の皆さんと一緒に、三迫公園で芝桜の植栽を行いました。4月～5月中旬が見頃です。



芝桜の植栽をする西自治会の皆さん ▲

1/12 新春恒例 海田町消防出初式

消防出初式を行いました。式辞で西田町長は、海田町の安全・安心なまちづくりのためには「自助・共助・公助の三つの柱が重要である」と呼びかけました。優良消防団員の表彰では、永年、消防団活動に貢献した15人の団員に対し、その功績を称え表彰および表彰の伝達を行いました。式典後には、海田吹奏楽団がNHK紅白歌合戦で歌われた「パプリカ」を子供たちの歌と共に演奏しました。また、広島市消防局はしご乗り同好会によるはしご乗りでは、高さ約7mのはしごの上での圧巻の演技を披露していただきました。最後には、海田鼓童子による迫力ある和太鼓の音色に会場は圧倒され、会場は盛大に盛り上がりました。今年一年、火災による被害が出ないよう、火災予防に取り組みしましょう。



式典の様子 ▲



はしご乗り ▲

1/12 成人おめでとうございます 令和2年 成人祭（表紙写真）

海田公民館大ホールで成人祭が開催されました。210人の新成人が参加し、門出の日を迎え、久しぶりに再会した仲間や先生方との話に花を咲かせて賑わいを見せていました。第2部の記念事業では、成人祭実行委員会が企画したビンゴ大会を行いました。豪華な景品もあり、会場は大いに盛り上がりました。



式典の様子 ▲



新成人の皆さん ▲

1/18 安芸地区の1区4町がシャレオで魅力をPR！ 安芸地区自慢対決inシャレオ

紙屋町シャレオ北通りで、安芸区・府中町・海田町・熊野町・坂町が、イチオシ物販と観光・まちづくりPRで自慢対決する「安芸地区自慢対決inシャレオ」が行われました。ヒマ太君をはじめ各市町のキャラクターも登場し、終始来場者が殺到していました。海田町からは「DE LA MER焼き菓子店（くわしくはP9）」が海田町産のレモンを使用した焼き菓子などを販売しました。開店前から行列ができ、昼過ぎには完売しました。会場では来場者が気に入った市町を選ぶ投票やキャラクターとの積み木対決、陽年齢検査など、様々なイベントもあり、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただきました。



会場のような ▲

町長コラム

海田町長 西田祐三

「輪（わ）」

新しい年が始まり、一月余り立ちましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年には「オリンピックイヤー」であり、町としても、4月に開館予定の「織田幹雄スクエア」などを活用し、日本人初の金メダリストである織田幹雄氏の功績を広く内外に発信するとともに、旧千葉家住宅を初めとする町の魅力をしっかりPRしていきたいと考えています。新年の明るい話題の一方で、人口に関して心配なニュースも出ております。広島県の人口が統計を取り始めて以降、初めて280万人を下まわる見込みとなったというもので、予想を上回るスピードで人口減少が進んでいる状況です。こうした中であって、町では、住民の皆さまと取り組んできた、まちづくりが成果を出しつつあり、昨年6月末には住民基本台帳の人口が3万人を超え、昨年末時点でも3万人代となっています。引き続き、「暮らしやすさ」を実感していただけるまちづくりを加速化させていきたいと考えています。町では、職員一丸となって業務に取り組むため、その年のテーマを一文字で掲げています。令和2年の今年は、「輪（わ）」としました。これは、オリンピックの「五輪」、市内の5つの部署が連携を図るといふ「輪（わ）」、行政と住民、地域間のつながりを大切にするという「輪（わ）」といった思いを込めて掲げたものです。この「輪（わ）」のもと、職員一同思いを一つにし、住民福祉の向上に向け、日々の業務に邁進してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

運転免許証自主返納高齢者支援事業

長寿保険課 ☎823-9609
☎823-9627

平成31年4月から、運転免許証を自主返納した高齢者に対し、高齢者がマイカーに依存することなく移動でき、充実した生活が続けられるよう支援しています。

支援対象者◆海田町に住所を有する満65歳以上の人で、平成31年4月1日以降に有効期限内の運転免許証を自主返納した人

支援内容◆次のいずれかを選択できます。

- ① 1万円の広島県交通系ICカード「パスピー」
 - ② 1万円のタクシー利用助成券（500円×20枚）
- ※①については有効期限がありませんが、②については、申請年度末が有効期限となります。

期限◆自主返納日より1年以内

支援回数◆1回限り



申請に必要なもの◆

①申請による運転免許証の取消通知書（運転経歴証明書でも可）②印鑑

申請の流れ◆

①本人が警察または運転免許センターで運転免許証を自主返納します。（「申請による運転免許証の取消通知書」が交付されます）②長寿保険課（役場1階④番窓口）の窓口で申請してください。③申請内容を確認し、後日パスピーまたはタクシー利用助成券を郵送します。

※代理による申請も可能です。その場合、代理の本人確認が可能なもの（運転免許証などの公的証明書）を持ってきてください。